

2K-5100



0  
32

数理解析研究所講究録507

# 統計的漸近理論とその応用

禁帯出期間  
59. 1. 26— 2.-2  
数研図書室

京都大学数理解析研究所

1983年12月

京都大学

84056687

図 書

数理解析研究所

まえがき

1983年6月2日～6月4日の期間に、研究集会「統計的漸近理論とその応用」が開催され、多数の参加者の御協力により実り多いものになりました。

統計的漸近理論は正則な場合のみならず、いろいろな意味で非正則な場合についても盛んに研究されており、またその応用も様々な分野で行われています。これらの理論と応用がさらに発展していくことを期待し、この講究録が少しでも役立つことを念願しています。

最後に、京都大学数理解析研究所の方々にいろいろお世話になったことを感謝致します。

1983年8月

赤平 昌文

統計的漸近理論とその応用

研究集会報告集

1983年 6月 2日～ 6月 4日

研究代表者 赤平 昌文 (Masafumi Akahira)

目 次

1. A CHARACTERIZATION OF SECOND ORDER EFFICIENCY FOR ESTIMATORS IN A CURVED EXPONENTIAL FAMILY----- 1  
阪大 基礎工 江口 真透 (Shinto Eguchi)
2. ARIMA processes における種々の統計量の漸近的性質について-----16  
東工大 理 矢島 美寛 (Yoshihiro Yajima)
3. 点過程・空間パタンの最尤法に於ける非正則漸近性の例について-----33  
統数研 尾形 良彦 (Yosihiko Ogata)
4. Asymptotic Properties of Estimators in Non-Regular Situations -----44  
電通大 赤平 昌文 (Masafumi Akahira)
5. R. A. Fisher における非正則推定論-----60  
東大 経 竹内 啓 (Kei Takeuchi)
6. Estimation of structural parameter in the presence of a large number of nuisance parameters -----75  
東大 工 公文 雅之 (Masayuki Kumon)  
甘利 俊一 (Shun-ichi Amari)
7. Geometrical Theory on Estimation of Structural Parameter in the Presence of Infinitely Many Nuisance Parameters-----97  
東大 工 甘利 俊一 (Shun-ichi Amari)  
公文 雅之 (Masayuki Kumon)

8. RATE $O\left((n^{-1} \log n)^{\frac{1}{2}}\right)$ OF RISK CONVERGENCE IN THE EMPIRICAL BAYES BOOTSTRAP ESTIMATION: CASE OF RETRACTED DISTRIBUTIONS-----	117
筑波大 野上 佳子 (Yoshiko Nogami)	
9. 格子点上の Gibbs モデルの局所漸近正規性-----	135
広大 総合科 間瀬 茂 (Shigeru Mase)	
10. Asymptotic efficiency of $\{C_n\}$ -consistent estimators -----	140
東理大 理工 平川 文子 (Fumiko Hirakawa)	
11. PROPERTIES OF SIMULTANEOUS-EQUATION ESTIMATORS IN THE ECONOMETRIC MODEL -----	148
京大 経済研 森棟 公夫 (Kimio Morimune)	